

KONG製バックアップの使用上の注意点



株式会社ヴァーテックス

基本情報

1 - 使用者は本製品を使用する前に、メーカーが提供する情報(以下、情報と言う)を読み、完全に理解しなければなりません。

警告: この情報は、本製品の特性、使用、組立、分解、保守、保存、消毒等に関するものです。ただし、この情報が製品の使用方法についての提言を含んでいたとしても、使用や保守に関する説明書そのものであると思ってはいけません。(自動車の使用・保守ハンドブックが、運転の仕方を教えるわけではなく、あるいは自動車学校の代わりになるわけではないのと同じことです)。

警告: ロッククライミング、アイスクライミング、懸垂下降、ヴィア・フェラータ、洞窟探検、アルパインスキー、キャニオニング、探検、救助作業、ツリークライミング、高所作業は、高度に危険を伴う活動であり、事故や時として死亡につながる可能性があります。本製品の使用方法を習得し、それがどのように動作するか及びその限界を完全に理解してください。疑問がある場合には、危険を冒すのではなく、お聞きください。

次のことを忘れないでください:

- 本製品は研修を受けた熟練者のみが使用できます。そうでない場合には、使用者は、安全を保証できる熟練者による監督下で使用しなければなりません。

- 使用者は、本製品を理解し、使用方法と安全に関する注意を習得する責任があります。

- どのような製品であろうと、KONG社の製品を使用することで使用者自身あるいは第三者が被るかもしれない損傷、怪我、または死亡などのすべての危険と責任は、使用者自身が負います。この責任と危険を負う地位にいない場合には、本製品の使用はご遠慮ください。

2 - 使用前・使用後には製品ごとの固有情報に書かれたすべての管理事項を実行してください。また製品に関して、特に次のことをご確認ください:

- 完全な状態にあり、かつ良好に動作する

- やろうとする作業に本製品が適っている: 苦痛を感じない範囲の技術でご使用ください。そうでない場合にはご使用を禁止いたします。**死亡事故の危険にご注意ください!**

3 - 製品の安全性と動作状態に関して疑いが持たれる場合には、直ちに交換してください。空間落下した場合には、その製品の使用を中止してください。外側からは見えない内部の損傷や変形により、強度が大きく減少していることがあります。不適切な使用、機械的な変形、誤っての高所からの器具の落下、摩耗、化学的な汚濁、通常範囲(金属のみの製品: -30/+100° C - 繊維部分を含む製品: -30/+50° C)から著しく外れた気候条件下での暑さへの暴露などは、製品の使用可能寿命を減じたり、制限したり、場合によっては終了させる原因となります。

4 - 本製品は、指示89/686/EECに適合し、かつ関連する情報と互換性のある個人用保護器具と連結して使用することができます。

5 - 自然物であるかないかに関わらず、確保の抵抗力が自動的に保証されるわけではありません。十分な保護が保証されるよう、使用者が前もって注意深く状況を判断することが不可欠です。

6 - 安全のために不可欠なことは:

- 危険を評価し、本製品が構成要素である安全システム全体が信頼できかつ安全であることを確認する
- 本製品の使用中に生じるかもしれない緊急事態に対処した救助計画を準備する
- 落下の可能性を減じ、かつ関連する高度が最小となるようなやり方で作業を実施することを確認する
- 落下停止システムが規格EN 363に適合していること、また特に以下のことを確認する:
 - 確保点が規格 EN 795 に適合し、最少強度 10 kN を保証、かつできれば使用者より上に位置している
 - 使用されている部品が適合したものである(即ち、規格EN361に適合したハーネス、規格EN 362に適合したコネクタ等)

7 - 安全な落下停止のためには、確保位置が重要です: 障害物(例えば、地面、岩肌とこすれる物など)との衝突を避けるため、使用者の下の高さ(クリアランス)、落下可能な高さ、ロープの流れ、振られる範囲を注意深く考慮してください。

8 - 使用者の命は、その人の使用する器具(器具は個人のものを使用することをお勧めします)の効率的な動作と履歴(使用、保管、管理等)に依存します。有資格者による使用前・使用後の管理を行うことを強くお勧めします。また、少なくとも年1回、検査のためにメーカーより公認専門家を呼び、製品管理カードに結果を記録することをお勧めします。

9 - 使用者は本製品を正しく使用し、実施した管理を記録したカードを保管する責任があります。

10 - KONG社は、不適当な使用、製品の改造、公認されていない人による修理、純正部品以外のものの使用に起因する損害、怪我、あるいは死亡に対してはいかなる責務を負いません。

11 - 運搬に関しては特別の注意は不要ですが、化学試薬、腐食性物質との接触は避け、尖っていたり、鋭い部品は十分に保護してください。**警告:器具は日向に止めた車中には放置しないでください。!**

12 - **警告:** 本製品を一般に販売する場合は、元の梱包のままかつ関連する情報とともに販売しなければなりません。本来意図した国以外で販売する場合には、取扱い業者は製品をチェックしこの情報の翻訳を付けることが義務となります。

13 - 製品の保守は、以下で説明する洗浄と潤滑のみに限ります。

13.1 - 洗浄: 必要に応じぬるま湯(最高40° C)で頻繁に洗ってください。弱い洗剤(中性石鹼)を加えても結構です。ゆすぎ後、直接に熱が当たらないようにして自然乾燥させてください。

13.2 - 消毒: 第四アンモニウム塩を含む消毒剤を加えたぬるま湯に、本製品を1時間程浸し、水ですすいでから乾燥させ潤滑油を注します。

13.3 - 潤滑(金属製品のみ): シリコンベースの油で可動部を頻繁に潤滑してください。油と繊維部分が接触するのを避けてください。この作業は洗浄後、完全に乾燥してから行ってください。

13.4 - 保管: 洗浄、乾燥、潤滑の後、器具を容器に入れず乾いた(相対湿度40-90%)、清浄(温度5-40° C)で安全(紫外線を避け)、化学的に中性(絶対に塩分のある環境を避け)で、かつ鋭い刃、熱源、湿気、腐食性物質、あるいは有害である可能性のある状況から離れた場所に置いてください。濡れたまま保管しないでください。!

14 - 本製品は公認機関nr. 0123 - TUV Product Service GMBH, Ridlerstra ß e 65, 80339 Munich, Germanyにより、本製品に関する規格に適合していることが認定されています。

すべてのKONG製品は全数、国際規格UNI EN ISO 9001に認定された品質システムに適合する試験、検査を受けています。指示89/686/EEC第11B条に従って、Ⅲ級個人用保護器具は、公認機関nr. 0426 - ITALCERT, V.le Sarca 336, 20126 Milan, Italyの監督の基に製造されています。

警告:試験所での試験、検査、情報や規準は、使用中に実際に起こることを必ずしも再現できるとは限りません。自然環境で本製品を使用する場合、実際の条件下で得られる結果には相当なばらつきがある可能性があります。最善の情報は、熟練した有資格の指導者の監督下で継続して使用することにより得ることができます。

15 - 寿命: **警告:** 第3項を注意深くお読みください。金属器具の寿命は理論的には永久ですが、繊維やプラスチック器具は以下の条件で製造日から10年です: 保管は第13.4項に従って行われる、使用前・使用后、および定期的な管理において故障、変形、摩耗などが見られない、保守は第13項の記述に従って行われ、器具は破壊負荷の1/4を超えないよう正しく使用される。老朽化した器具(即ち、寿命切れ、登録更新された定期管理シートの欠落、更新された規準への不適合、現行の技術に適合しないか互換性がない等)は使用しない。老朽化し、変形、摩耗し、正しく動作しないなどの器具は、それ以上使用されないよう破壊することにより廃棄してください。

16 - 固有情報

バックアップは:

- 落下停止器具です
 - 規準EN353-2で認定され、誘導式の自動ロック式で、使用者に従って動き、万一の落下の場合には確保綱にロックします
 - 規準EN12841 type Aで認定され、安全ロープに装着され、使用者の位置に伴って動き、静的あるいは動的負荷でロープに自動的にロックします
- 位置固定器具です
 - 規準EN358で認定され、作業着(安全ベルトを着けた)と固定した確保点あるいは構造物との

距離を規制します

- EN 12841 type B、EN 567及び規格UIAA 104で認定され、手で、作業ロープに装着され、負荷により一方向(下向き)にはロックし、反対方向(上向き)には自由にスライドします

重要: バックアップは、規準EN567及びUIAA 104(登山用具-ロープクランプ)に適合する使用時において、KONG社が製造するランヤード(規準EN354に適合する)、径10、11及び12 mmの繊維のスタティックロープランヤード、また径12 mmのノーカットランヤードで試験し認定されています。バックアップは、規準EN1891で認定されたLanex社の径10、11及び12 mmのスタティックロープとも使用が可能です。この場合使用者は、ロープに十分に堅固な連結用の輪と末端の結び目を作る必要があります。

警告:

- 作業ロープに装着した調節器具で停止して高所作業を行う時は、常に規準EN12841 type AまたはEN353に適合した落下停止器具を装着した少なくとももう1本の安全ロープを使用してください
- 器具で位置を固定する時は、以下のことを確認してください:
 - 作業ロープ、安全ロープの確保点が使用者より上に位置し、かつ規準EN795に適合している
 - コネクタが安全環付きで、かつ規準EN362に適合している
 - 確保点と使用者の間のロープが緩んでいない
 - 安全な場所で、使用することに器具が正しく動作することをチェックする
 - 器具の動作は、使用するロープにより規準に指定されているものとは異なるかもしれません
 - 湿気、雪、氷、泥、汚れなどは、器具の動作性能を著しく減じるか全く効かなくしてしまいます

16.1 - “バックアップ” の部品

図1 - A: ロック機構、B: “フリーモード”↑↓ / “ロックモード”↑↓ 選択レバー(第5.2項参照)、C: “Oval kl” (スクリュー式/ツイストロック式) コネクタ、D: スタティックロープランヤード/ノーカットランヤード、D1: 輪 (連結箇所)、D2: 末端の結び目

16.2 - 機能モード

“バックアップ”をロープに装着する前に、目的に応じ機能モードを選んでください:

- “フリーモード” ↑↓ (落下停止): “バックアップ”は両方向に自由に動きます。この場合、“バックアップ”は同梱のコネクタでハーネスと直接連結します(図2)。場合により、もう1つコネクタを使用し、“バックアップ”との角度を90度回転させる必要があることがあります(図3)。 **警告: この場合、“バックアップ”とハーネスとの間にシンプルカウテールを使用しないでください: 死亡事故の危険があります!** (図4); 安全ロープと作業ロープとの距離によりカウテールの使用が必要な場合には、規準EN355に適合したショックアブソーバを備えたカウテールのみを使用してください(図5)。

- “ロックモード” ↑↓ (位置固定): “バックアップ”は一方向(上方向)のみにスライドします。

警告: “バックアップ”はロックモードでは落下停止器具としての機能がありません: ですから使用者は“バックアップ”の位置を通り越してはいけません。落下可能の距離が常に0.5 m以下になるよう、適切な長さのカウテールを使用してください。 (図6)。

“フリーモード” ↑↓と“ロックモード” ↑※との選択は、レバーを動かして行います。レバーにはロックボタンがついており、ボタンを押すとロックが解除されます。

- レバーの位置は所望の位置に動かします。- ボタンが上がった状態に戻りレバーの動きがロックされているかをチェックしてください(図7)。

警告: 他のシステムや“プルジック”のような自動ロック結びと同様、“バックアップ”はコネクタに負荷がかかった時のみ停止します: 例えば図8や9のように、他のやり方で“バックアップ”に負荷がかかることがないようにしてください: “バックアップ”はロープに沿ってスライドしてしまいます。: 死亡事故の危険があります!

要約表

使用	Mode	ランヤード/ロープ タイプと径φ	(記号) 死亡事故の危険性
落下停止 EN 353-2 EN 12841/A	フリーモード ↑↓	“スタティックロープ ランヤード” φ 10-11-12 mm	シンプルカウテールの 使用禁止 (図 4)
位置固定 EN 358 EN 12841/B	ロックモード ↑※	“スタティックロープ ランヤード” φ 10-11-12 mm	“バックアップ”の通り 越し禁止 (図 6B - 6C)
EN 567 UIAA 104		“スタティックロープ ランヤード” φ 10-11-12 mm “ノーカットランヤード” φ 12 mm	落下可能距離が0.5 m 以下であることの確認 (図6A) コネクタによるバックア ップへの負荷に限る (図 8-9)

16.3 -装着方法

図10と同じ位置で、“バックアップ”を使用者の前面に持ち:

- レバーを操作して(第5.2項参照)機能モードを選択します(“フリーモード”または“ロックモード”)
- カバー面を反時計方向に回転して器具を開きます
- 器具を、“スタティックロープランヤード”または“ノーカットランヤード”に装着します
- カバー面を時計方向に回転して器具を閉じます
- “Oval kl” (スクリー式/ツイストロック式) コネクタを“バックアップ”の輪に通し、ハーネスに連結します(第5.2項に書かれたように)。連結後安全環のスクリーをしっかりと締めます
- “フリーモード”では“バックアップ”は上下に自由にスライドし、“ロックモード”では上のみスライドし下にはロックされることを確認します。警告: 例えば図11のように、他のやり方で“バックアップ”をロープに装着しないでください。死亡事故の危険があります!

16.4 - “バックアップ”の正しい使用法/間違った・危険な使用法の例

器具の使用目的:	正しい使用法	間違った・危険な使用法
- 落下停止 (“フリーモード”↑↓)	図 2 - 3 - 5 -12 - 13	図 4 - 11
- 位置固定 (“ロックモード”↑↓)	図 14 - 15	図 6B - 6C -8 - 9 - 11

17 -使用前・使用後の管理

管理に関し以下のことをご確認ください:

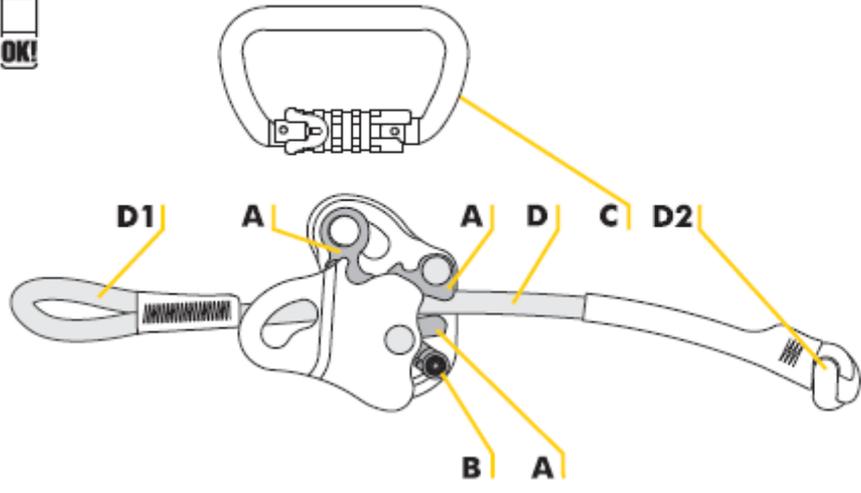
- 器具は使用目的に適ったものであるか
- ロープ(スタティックロープランヤード)には、損傷、硬化、径の変化、切り傷、摩耗、ほころびなどの兆候がない

切り傷や緩んだ燃糸にご注意ください!

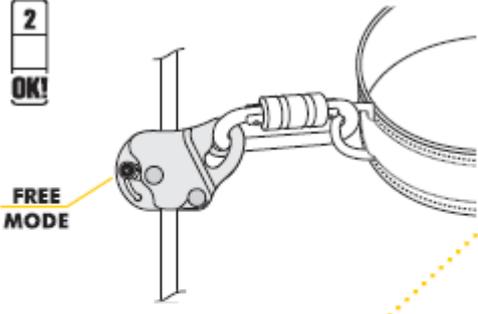
- 金属部品: 機械的な変形がなく、割れや摩耗の兆候がない、特に以下のことをご確認ください:
 - ロープが通る箇所には泥や砂等、また潤滑物質が付着していない
 - 内部のレバーとバネが自由に動く
 - 選択レバーが第5.2項に記述されたように動作する
 - コネクタが正しく動作する、特に以下のことをご確認ください:
 - ゲートは押されれば全開し、離せば自動的かつ完全に閉じる
 - ゲートロック機構は、図16に示すように動作する

安全な場所で、器具が正しく動作するかチェックしてください。

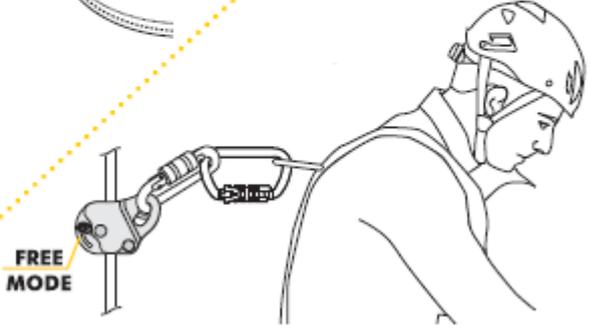
1
OK!



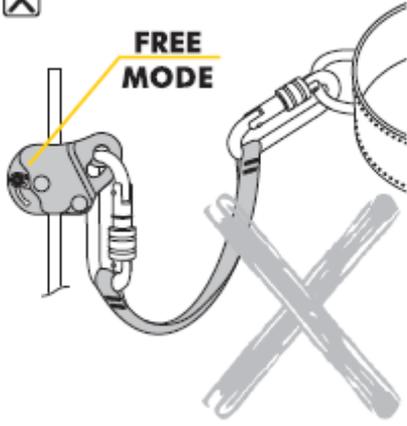
2
OK!



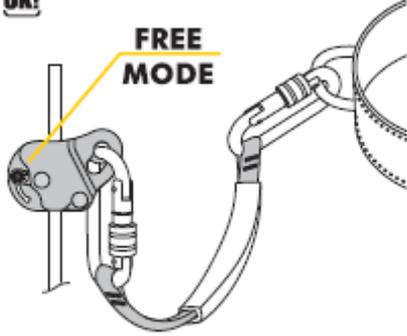
3
OK!

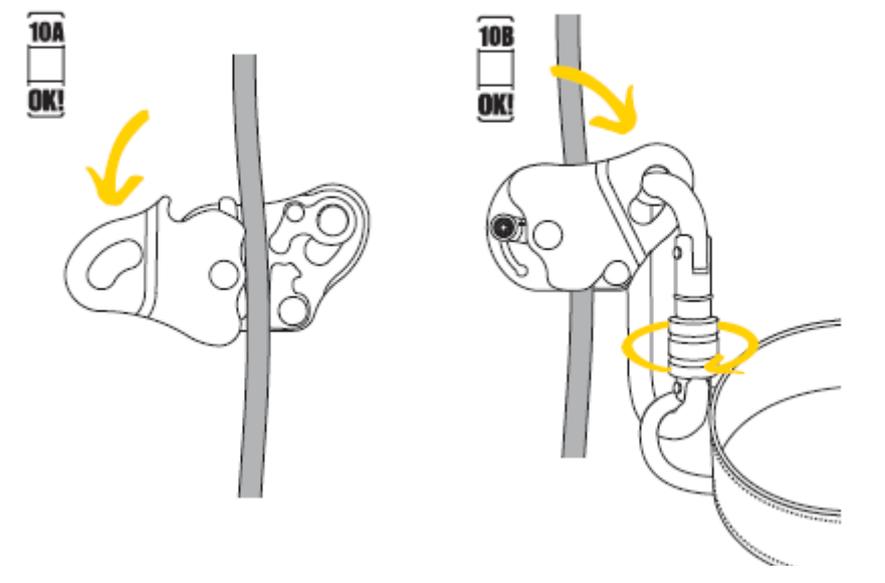
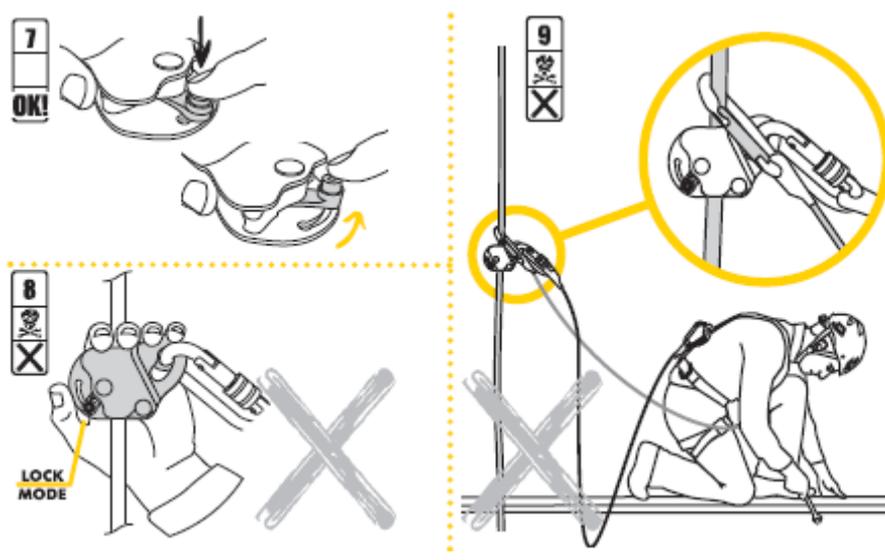
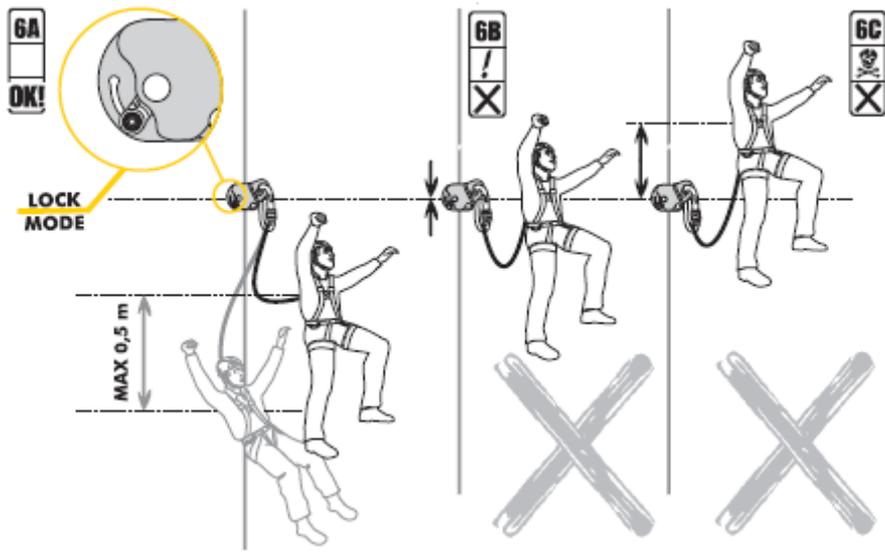


4
X

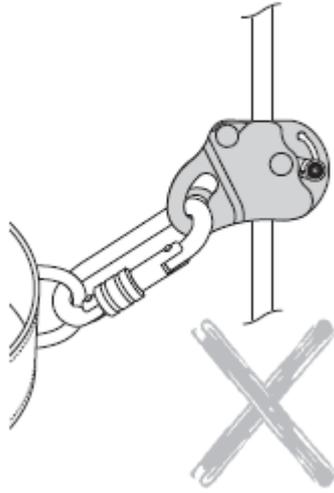


5
OK!





11
X



12
OK!



13
OK!



14
OK!



15
OK!



16
OK!

